

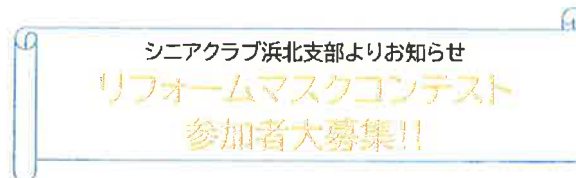
シニアクラブ浜松市

○総人口 800,870人 ○65歳以上人口 220,940人 ○高齢化率 27.6%
○シニアクラブ会員数 21,422人 ○シニアクラブ加入率 9.7%

～シニアクラブ浜松市 浜北支部～

《概況》

○シニアクラブ浜北支部では新型コロナウイルス感染症で自粛生活をつづける会員の運動不足からの体調不良やフレイル化の阻止対策として巣ごもり中でも出来る楽しい活動としてマスクとぬり絵のコンテストを開催した。



新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう今、シニアクラブとして出来ることは何か…

まだ当分、自粛生活が続くそう今…外出せず、お金をかけなくても、身を守るものを自分で作り、感染しないことで医療機関に行く回数を減らすという貢献ができる。そんないろんな知恵で、工夫することを考えるだけでも心がワクワクしませんか？

例えば、これから夏にむけて肌触りの良い素材の布で汗になりにくいマスクを作るとか…透明な板で、お面のようなマスクにしてみた！など…

自宅にあるものだけで、自分のマスクを作ることが唯一の条件です！

参加資格はシニアクラブ会員の男女であること（参加費あり！）

優れた工夫の作品には、なにか良いものをプレゼントします!!

(※頑張ったで賞、おもしろいで賞などあり)

このコンテストは「飛龍」にて写真掲載します。
ぜひ、みなさんで参加してください。
ワクワクすることは、免疫力を向上させます!!

お待ちしております

キトリセン

会員限定応募用紙

リフォームマスクコンテストに参加します

地区名：_____

単位クラブ名：_____

氏名：_____

9月30日（火）までに各地区長に提出してください

○リフォームマスクは令和2年5月～6月に募集。所属33クラブから102枚の作品応募があり、作品は11月に開催された文化作品展に展示し、入場者の人気投票を行い30点の入賞作品を選出し表彰景品を贈呈した。応募者の最高齢は91歳！まだまだ腕は確かで、皆に元気を与えてくれた。

○令和2年8月には、ぬり絵3枚を所属全クラブ57クラブ4,696人に配布。各地区出来上がった物から区民センターに展示していった。各地区1点を選び11月の文化作品展に展示し、マスクと同じように人気投票で15点を入選作とし表彰景品を贈呈した。こちらの最高齢はなんと97歳であった。

別紙2-1

ぬり絵コンテストに参加しよう!!



コロナ禍で自粛生活をしているみなさん!

ぬり絵を描くと、脳トレや手と指の運動になります!!

☆童心にかえて、色を塗ってみませんか?

応募要項

応募資格：シニアクラブ会員
応募締切：令和2年10月29日（木）
応募方法：コンテスト専用ぬり絵用紙1～3枚に出展票
（地区名、単位クラブ名、氏名、コメント）を記入のうえ、
単位クラブ会長まで提出してください。
展 示：各単位クラブは、応募作品の中から一点を選び、
文化作品展に出展し、展示する。
（その他の作品は地域の施設などに展示してください）
審 査：上記文化作品展にて装填者の方に投票していただきます。
表 彰：上位の入賞者には賞品を贈呈いたします。
※応募は一人1点以上3点までとさせていただきます。
※出展票は事務局が用意します。
※色鉛筆、クレヨン、マーカーなどを使用してください。

○各クラブ57作品は浜北区のふれあい福祉センター小林と区役所ロビーに展示し区民の皆さまからも多くの賛辞をいただいた。

《成果》

- 令和2年2月頃から、自粛生活に入っていた会員は殆どの活動・行事が中止となり「体力」「気力」の落ち込みでひどく沈んでいる方が出てきていた。
少しでも、「脳トレ」「筋トレ」の助けになるのではないかとこの企画を実施した。
- 集まった作品を見てびっくり”大変すばらしい“作品が多く、とても高齢者の作品とは思えない力強く、工夫に富んだもので、役員一同、本当にこの企画を実施して良かったと喜

び合った。

(今期の企画の成果)

- ・文化作品展の入場者が倍増した。
- ・高齢会員のやる気を誘発できた。
- ・話題と参加する場が増えた
- ・市民の皆さまにもシニアクラブの活動を認識していただく機会となった。
- ・会員同士の絆がさらに深まった。
- ・「つぶやきノート」も各クラブに廻してあるが、皆楽しみにしているようだ。

《今後の方針》

○令和2年度の事業計画の中で、運動会的な意味の「いきいきフェスティバル」が中止となり、代替の事業を考えたとき何をすることも三密が避けられず集合形態での事業が出来ないことに気づいた。

活動の自粛により、巣籠による体力、気力の沈み込みは、フレイル化に繋がるものと心配された、役員会で、少しでも高齢者の興味を引く活動はできないものかと検討して、今回の「リフォームマスク」と「ぬり絵」のコンテストを思いつき実施させていただいた。急遽実施した事業ではあるが、巣籠の高齢者にとって格好の題材であったか会員の反応は良いものであったように感ずるが、全会員に喜ばれたわけではない。(特に若手の方) 皆が喜ぶ事業を行うことの難しさをつくづく実感させられた。この企画を来年度も実施してほしいとの声も結構上がっているが、急ごしらえの事業で不手際の部分もあったので、継続開催のためには事業の細部を一から見直していきたいと思う。

【ぬり絵の元絵】



(作品展示の様子を伝える新聞記事)



北文化センターで始めた。今回は、新型コロナウィルス感染拡大期ということでも手作りマスクの展示コーナーも設けた。19日まで。写真や絵画、手芸と

ももある。新型コロナの影響で同クラブも今年はいくつかの行事を中止した。渥美みつ会長(83)は「自粛生活の中、作品を皆さんに見てもらうことが高齢者たちの励みになることを知ってほしい」と話す。

いった恒例の出品は約150点。マスクは102点が並ぶ。木綿や着物を素材にし、花柄や水玉模様などを表現。自治体のマスクコックトキヤラクターなどを描いたユニークな作品

令和2年11月18日

静岡新聞 朝刊より

(手作りマスク)



(ぬり絵優秀作品)



←
ぬり絵
コンテスト
第1位作品
寺島の
82歳女性の
作品です。



←
ぬり絵
コンテスト
第2位作品
小松の78歳
女性の作品で
す。



←
ぬり絵
コンテスト
第3位作品
赤佐の
78歳女性の
作品です。



←
ぬり絵
コンテスト
第4位作品
赤佐の
72歳男性の
作品です。



↑ぬり絵コンテスト
第4位タイの作品
中瀬の83歳男性の作品です。



↑ぬり絵コンテスト
第6位の作品
寺島東の69歳男性の作品です。